

# 1. 馬洗川ブロックの概要

## 1.1 ブロックの概要

江の川は、水源を広島県山県郡芸北町阿佐山（標高 1,218m）に発し、中国山地のほぼ中央部を貫流して日本海に注ぐ一級河川で、中国地方最大の流域面積を持つ河川です。

その流域は、広島県・島根県と両県にまたがり、上流部で小支川を合わせ、広島県北の中心都市三次市において馬洗川、西城川及び神野瀬川を三方向より合せた後、狭窄部となり島根県に入り出羽川・八戸川などを合せて江津市において日本海に至ります。

江の川上流部（広島県側）は典型的な放射状流域であり、勾配は比較的緩く平地的な地形となっています。

また、下流部（島根県側）は中国山地を横断し、山間狭あい部を蛇行しながら流れる急勾配河川となっています。広島県・島根県の各々の流域面積は約 2,640km<sup>2</sup>、約 1,260km<sup>2</sup>と広島県側が全体流域の 2 / 3 を占めています。江の川水系は全流域面積約 3,900km<sup>2</sup>で、幹川流路延長は 194.0km です。



図-1.1 江の川流域図

馬洗川ブロックは、江の川の中流部に位置する、三次市、庄原市、賀茂郡豊栄町、世羅郡世羅町、世羅西町、甲奴郡上下町、総領町、甲奴町、双三郡吉舎町、三良坂町、三和町、神石郡神石町の12市町にまたがる流域で、馬洗川及びその支川と、北溝川、片丘川（放水路を含む）から構成されています。

馬洗川は、その源を世羅台地に発し、丘陵部を東流したのち、山福田川、黒淵川を合わせ、流路を北方に転じ、戸張川等を合わせながら流路を西方に転じ、上下川、美波羅川、国兼川、西城川等を合わせ、三次市の中央で江の川に注ぐ流域面積 1,310.3km<sup>2</sup>、流路延長 39.2km の河川です。

#### (1) 流域の自然環境

気候は、年間降水量の平均で 1,300mm～1,500mm 程度となっており、月別では、冬・春季(12月～4月)に少なく、梅雨期の5～7月および台風期の9月に多い傾向を示しています。また、年平均気温は、12～14℃です。

地形は、流域の大部分を小起伏山地で占め、北東部に神石高原山地、南部に世羅高原山地があります。北西部に三次盆地を中心とした丘陵地や低地が広がっています。

地質は、流紋岩・安山岩・花崗岩を主体とした中生代白亜紀の地質が全域に分布しています。他に、黒目川上流や上下町域に古生代後期～ジュラ紀の粘板岩や砂岩を主体とした地質が、三次盆地の丘陵部に新生代新第三紀中新世の堆積岩を主体とした地質が分布しています。

林相は、二次樹林を主体としており、領家川流域、上谷川流域、馬洗川上流部や美波羅川中流部に落葉ナラ類二次林が分布する他は、主に南部にアカマツ二次林が分布しています。

本ブロック内には、国営備北丘陵公園、三次ワイナリー、七塚原高原等の観光地があり、年間を通じて観光・レクリエーションの場として利用されています。

#### (2) 流域の社会環境

ブロック内の主要な都市としては、三次市、庄原市があり、昭和 53 年に全線開通した中国自動車道（高速国道二号線）により、全国の主要都市と結ばれています。また、国道 183 号（三次～米子）、国道 184 号（松江～尾道）、国道 375 号（呉～大田）、国道 432 号（竹原～松江）などの道路網が山陰と山陽を結ぶ大動脈として大きな役割を果たしています。

人口は三次市が約 4 万人、庄原市が約 2 万 1 千人、その他 10 町で約 4 万 5 千人です。

各市町の中心部はいずれも河川沿いにあり、特に三次市に人口が集中しています。また、中心産業が第 1 次産業から第 2 次、第 3 次産業と移行していますが、平成 7 年国勢調査結果によると豊栄町、世羅町、世羅西町、総領町、甲奴町及び三和町で第 1 次産業が 25% を越え、広島県全体の 5.7% を大きく上回っています。

## (3) 馬洗川ブロック河川管理区間

馬洗川ブロック広島県管理区間一覧を表 1-1 に示します。

表-1.1(1) 馬洗川ブロック広島県管理区間一覧(1/3)

河川名	区 間		河川 延長	流域 面積	備 考
	上 流 端	下流端			
ばせん 馬洗川	左岸 世羅郡世羅西町大字上津田字鶴首 1990 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 1989 番地先	江の川への 合流点	39.2	1310.3	直轄区間 5.8km 指定区間 33.4km
ごんげん 権現川	三次市畠敷町 594 番 5 地先の取水堰堤	馬洗川への 合流点	2.0	2.3	
えぎだに 恵木谷川	左岸 三次市畠敷町 1071 番地先 右岸 同市同町 673 番 1 地先	馬洗川への 合流点	1.0	0.7	
いわやじだに 岩屋寺谷川	左岸 三次市畠敷町字重光 1195 番 1 地先 右岸 同市同町同字 1194 番地先	馬洗川への 合流点	1.3	1.1	
おおたに 大谷川	左岸 三次市畠敷町字東山 455 番地先 右岸 同市同町字大日南 2069 番地先	馬洗川への 合流点	2.3	2.5	
むねすけ 宗祐川	左岸 三次市東酒屋町字宗谷 518 番 2 地先 右岸 同市同町字七日市 380 番 1 地先	馬洗川への 合流点	2.5	2.3	
しじっかん 四十貫川	左岸 三次市四十貫町字弘法谷 1391 番 2 地先 右岸 同市同町字大平 920 番 1 地先	馬洗川への 合流点	2.65	2.9	
いもづら 芋面川	左岸 三次市三若町字城山甲 162 番 2 地先 右岸 同市同町字掛田山 95 番 1 地先	馬洗川への 合流点	9.3	15.3	
いわくら 岩倉川	左岸 三次市高杉町字土居内 13 番地先 右岸 同市同町字郷 6859 番地先	芋面川への 合流点	1.46	2.7	
くにかね 国兼川	左岸 庄原市上原町字林正 1536 番 1 地先 右岸 同市同町同字 1529 番地先	馬洗川への 合流点	14.5	47.1	
すがた 菅田川	左岸 三次市和知町字白馬 251 番 2 地先 右岸 同市同町字白馬山 1834 番 2 地先	国兼川への 合流点	1.7	1.7	
いち たに 一ノ谷川	左岸 三次市和知町字一ノ谷乙 928 番地先 右岸 同市同町同字乙 929 番地先	国兼川への 合流点	1.7	1.2	
きど 木戸川	左岸 庄原市木戸町字中島沖 537 番地先 右岸 同市同町同字 535 番地先	国兼川への 合流点	1.6	3.7	
ほんごう 本郷川	左岸 庄原市本郷町字紺屋組 1083 番地先 右岸 同市同町字藤城谷 537 番 2 地先	国兼川への 合流点	1.4	3.3	
いちむら 市村川	左岸 庄原市市町字本谷中組 947 番 1 地先 右岸 同市同町同字 945 番 1 地先	国兼川への 合流点	1.2	3.0	
がっこう 学校川	左岸 庄原市上原町字上田 2672 番 4 地先 右岸 同市同町字大深 404 番 2 地先	国兼川への 合流点	1.11	3.9	
みはら 美波羅川	左岸 世羅郡世羅町大字青木字小深 1180 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 1177 番地先	馬洗川への 合流点	37.2	145.7	
ごたんだ 五反田川	左岸 三次市糸井町字大山 1561 番地先 右岸 同市同町字長谷 2044 番地先	美波羅川への 合流点	1.8	2.1	
きのり 木乗川	左岸 三次市石原町字菅之迫 1263 番 1 地先 右岸 同市同町同字 1278 番 1 地先	美波羅川への 合流点	2.9	2.8	
いいだ 飯田川	左岸 双三郡三和町大字上舌字宗光 1 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 24 番地先	美波羅川への 合流点	5.7	11.6	
よしはら 吉原川	左岸 賀茂郡豊栄町大字吉原字御前 4654 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 4697 番地先	美波羅川への 合流点	8.7	25.8	
なかむら 中村川	左岸 世羅郡世羅西町大字中字上谷 306 番 1 地先 右岸 同郡同町同大字同字 302 番 7 地先	吉原川への 合流点	1.5	2.0	
しきじ 敷地川	左岸 賀茂郡豊栄町大字吉原字兼石 1143 番 1 地先 右岸 同郡同町同大字字寺田 487 番地先	吉原川への 合流点	1.0	4.6	
おおたに 大谷川	左岸 世羅郡世羅西町大字黒川字大谷 3145 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 3144 番地先	美波羅川への 合流点	2.1	2.2	

表-1.1(2) 馬洗川ブロック広島県管理区間一覧(2/3)

河川名	区 間		河川 延長	流域 面積	備 考
	上 流 端	下流端			
かみうしろ 上 後 川	左岸 世羅郡世羅西町大字黒川字上後口 102 番 4 地先 右岸 同郡同町同大字字鳴ノ木 437 番 1 地先	美波羅川への合流点	2.1	2.7	
かんむり 冠 川	左岸 世羅郡世羅西町大字小国字冠 1121 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 1120 番 2 地先	美波羅川への合流点	4.5	7.1	
おおつば 大 坪 川	左岸 世羅郡世羅西町大字小国字大坪 3834 番 2 地先 右岸 同郡同町同大字同字 3830 番地先	美波羅川への合流点	2.0	2.8	
みた 見 田 川	左岸 世羅郡世羅西町大字小国字見田 1402 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 1400 番地先	美波羅川への合流点	2.9	3.6	
くろはだ 黒 羽 田 川	左岸 世羅郡世羅西町大字小国字黒羽田 2475 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 2456 番地先	美波羅川への合流点	1.0	1.1	
え こうち 江ノ河内川	左岸 世羅郡世羅町大字津口字江之内下 1872 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 1892 番地先	美波羅川への合流点	1.5	2.2	
いだ 井 田 川	左岸 三次市太田幸町字中の坪 2597 番地先 右岸 同市同町同字 2604 番地先	馬洗川への合流点	1.8	4.4	
じょうげ 上 下 川	左岸 甲奴郡上下町大字小塚字天神 587 番地先 右岸 同郡同町同大字字頭田 603 番地先	馬洗川への合流点	45.4	285.6	直轄区間 11.7km 指定区間 33.7km
ほんむら 本 村 川	左岸 庄原市本村町字中山 1288 番地先 右岸 同市同町字投石 1140 番地先	上下川への合流点	19.3	59.0	
かりやだに 仮 屋 谷 川	左岸 双三郡三良坂町大字仁賀字仮屋谷甲 1272 番地先 右岸 同郡同町同大字同字甲 1271 番地先	本村川への合流点	2.5	3.3	
しもたに 下 谷 川	左岸 庄原市一木町字落合乙 562 番地先 右岸 同市同町字山の神 450 番 2 地先	本村川への合流点	1.25	3.9	
うえたに 上 谷 川	左岸 庄原市上谷町字貝迫 860 番地先 右岸 同市同町同字 857 番 1 地先	本村川への合流点	3.4	5.4	
のだに 野 谷 川	左岸 庄原市本村町字祖戸谷 1449 番 1 地先 右岸 同市同町字山口 1760 番 2 地先	本村川への合流点	1.42	4.7	
すぎたに 杉 谷 川	双三郡三良坂町大字灰塚字中山 1513 番 17 地先	上下川への合流点	0.86	1.6	直轄区間 0.86km
おおたに 大 谷 川	左岸 双三郡三良坂町大字灰塚字菖蒲谷 640 番地先 右岸 同郡同町同大字字本谷 869 番地先	上下川への合流点	3.3	5.4	直轄区間 1.3km 指定区間 2.0km
たぶさ 田 総 川	左岸 甲奴郡総領町大字五箇字足田岩 1907 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 1914 番 1 地先	上下川への合流点	15.76	93.7	直轄区間 4.43km 指定区間 11.33km
きや 木 屋 川	左岸 甲奴郡総領町大字木屋字日原 1204 番地先 右岸 同郡同町同大字字良沖 1129 番地先	田総川への合流点	2.2	5.0	直轄区間 1.0km 指定区間 1.2km
もりとう 森 藤 川	左岸 甲奴郡総領町大字稲草字大谷 1837 番 1 地先 右岸 庄原市峯田町字長岩 3361 番 2 地先	田総川への合流点	2.1	7.0	
ながたに 長 谷 川	左岸 甲奴郡甲奴町大字太郎丸字仮又沖 1079 番地先 右岸 同郡同町同大字同字甲 1057 番 1 地先	田総川への合流点	3.76	6.7	
かめだに 亀 谷 川	左岸 甲奴郡総領町大字黒目字宮内 451 番地先 右岸 同郡同町同大字字的場 490 番地先	田総川への合流点	5.65	28.8	
みみたか 耳 高 川	左岸 甲奴郡総領町大字黒目字大谷 2486 番地先 右岸 同郡同町同大字同字甲 2485 番 1 地先	亀谷川への合流点	2.4	4.0	
くろめ 黒 目 川	左岸 甲奴郡総領町大字黒目字大神田 36 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 33 番地先	亀谷川への合流点	5.7	15.0	
りょうけ 領 家 川	神石郡神石町大字古川字仁後札場元丁 83 番地先の町道橋下流端	田総川への合流点	5.561	16.8	
ぬくゆ 抜 湯 川	左岸 甲奴郡甲奴町大字有田字森常 407 番 1 地先 右岸 同郡同町同大字字今伊勢 679 番地先	上下川への合流点	7.1	14.5	
うが 宇 賀 川	左岸 甲奴郡甲奴町大字小童字三王 478 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 467 番地先	上下川への合流点	4.5	12.6	
むつむね 六 宗 川	左岸 甲奴郡甲奴町大字宇賀字中地田 2036 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 2010 番地先	宇賀川への合流点	1.9	3.3	
とももり 友 森 川	左岸 甲奴郡甲奴町大字福田字小田清水 157 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 160 番地先	上下川への合流点	4.41	6.7	
ひち 小 童 川	左岸 甲奴郡甲奴町大字小童字勤治屋 4284 番地先 右岸 同郡同町同大字字古屋 4433 番地先	上下川への合流点	6.09	15.2	

表-1.1(3) 馬洗川ブロック広島県管理区間一覧(3/3)

河川名	区 間		河川 延長	流域 面積	備 考
	上 流 端	下流端			
おづか 小塚川	左岸 甲奴郡上下町大字小塚字東高揚 39 番 1 地先 右岸 同郡同町同大字字古山王耕地 96 番地先	上下川への 合流点	1.7	5.8	
ながた 長田川	左岸 双三郡三良坂町大字長田字風呂本 300 番地先 右岸 同郡同町同大字字新宮沖 247 番地先	馬洗川への 合流点	4.7	9.6	
おきえ 沖江川	左岸 双三郡三良坂町大字三良坂字池内 115 番地先 右岸 同郡同町同大字字神納丸 169 番地先	馬洗川への 合流点	2.1	4.3	
うしろさこ 後迫川	左岸 双三郡三良坂町大字三良坂字後迫 37 番 3 地先 右岸 同郡同町同大字字大休 385 番 1 地先	沖江川への 合流点	1.0	1.4	
かたの 片野川	左岸 双三郡吉舎町大字敷地字椿山 1198 番地先 右岸 同郡同町同大字字高倉 3607 番地先	馬洗川への 合流点	3.7	6.8	
やい 矢井川	左岸 双三郡吉舎町大字矢井字尾田ヶ平 90 番地先 右岸 同郡同町同大字字妻夫岩 82 番地先	馬洗川への 合流点	3.5	8.0	
えぎだに 恵木谷川	左岸 双三郡吉舎町大字矢野地字砂原 149 番地先 右岸 同郡同町同大字字恵下谷 876 番地先	馬洗川への 合流点	1.3	1.7	
みたま 三玉川	双三郡吉舎町大字三玉字古銀山 434 番地先	馬洗川への 合流点	1.55	4.8	
きさだに 吉舎谷川	左岸 双三郡吉舎町大字吉舎字広ヶ迫 264 番地先 右岸 同郡同町同大字字冠岩 1249 番 1 地先	馬洗川への 合流点	1.8	5.6	
ひ 檜の川	左岸 双三郡吉舎町大字檜字川辺 778 番地先 右岸 同郡同町同大字同字乙 779 番地先	馬洗川への 合流点	2.8	9.0	
とげり 戸張川	左岸 世羅郡世羅町大字安田字政国 2907 番 2 地先 右岸 同郡同町同大字同字 2951 番 2 地先	馬洗川への 合流点	9.5	34.6	
たき 滝川	双三郡吉舎町大字雲通字鷹巣 659 番地先の取水堰	戸張川への 合流点	1.68	7.2	
のみみ 水呑川	左岸 双三郡吉舎町大字雲通字滝谷 1219 番地先 右岸 同郡同町同大字字横田 696 番地先	滝川への合 流点	0.16	1.7	
やすだ 安田川	左岸 世羅郡世羅町大字安田 1788 番地先 右岸 同郡同町同大字 1786 番地先	戸張川への 合流点	1.8	7.9	
みずのわかれ 水別川	左岸 世羅郡世羅町大字安田 2830 番地先 右岸 同郡同町同大字 423 番 9 地先	戸張川への 合流点	2.5	2.3	
くろぶち 黒淵川	左岸 世羅郡世羅町大字黒淵字慈地現 955 番 3 地先 右岸 同郡同町同大字同字 961 番地先	馬洗川への 合流点	7.0	17.6	
しかだ 鹿田川	左岸 世羅郡世羅町大字徳市字椋目 626 番 1 地先 右岸 同郡同町同大字同字 621 番地先	黒淵川への 合流点	1.8	3.5	
やまふくだ 山福田川	左岸 世羅郡世羅西町大字山中福田字飛谷 2101 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 2064 番地先	馬洗川への 合流点	4.7	10.8	
みぞくま 溝熊川	左岸 世羅郡世羅西町大字山中福田字十王堂 2897 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 2898 番地先	山福田川への 合流点	1.8	2.7	
かみみた 上三田川	左岸 世羅郡世羅西町大字長田字上三田 845 番地先 右岸 同郡同町同大字同字 819 番 2 地先	馬洗川への 合流点	1.5	2.9	
きたみぞ 北溝川	三次市十日市町字成光 1 番 2 地先	江の川への 合流点	3.3	3.7	
かたあか 片丘川	左岸 三次市東酒屋町字山崎 1123 番 1 地先 右岸 同市同町同字三勝池 1002 番地先	江の川への 合流点	4.2	6.3	
かたあか 片丘川 放水路	片丘川からの分派点	江の川への 合流点	2.07		

「平成 11 年 4 月 1 日現在 広島県河川一覧表」より抜粋

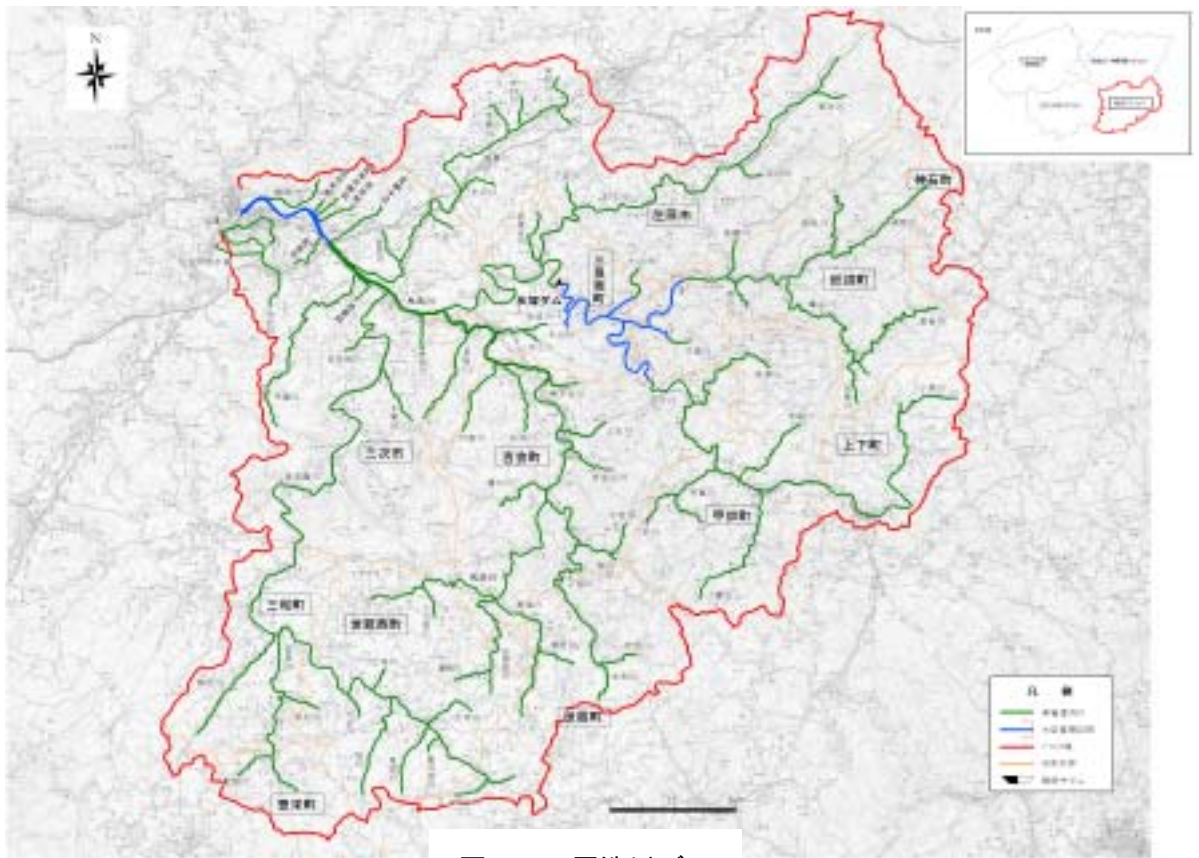


図 4-2 洗川流域

## 1.2 現状と課題

### 1.2.1 治水に関する現状と課題

馬洗川<sup>ばせん</sup>ブロックにおいては、昭和47年7月の洪水で、全壊家屋約70戸、浸水家屋6,000戸を超えるなど、ブロック内の多くの河川で甚大な被害が発生しました。

このため、昭和47年の大災害を契機として、ブロック内の各河川において河川改修が行なわれてきましたが、ブロック全体では改修の必要な箇所が残されています。

近年でも、平成5年7月、平成7年7月、平成9年8月、平成10年10月、平成11年6月に河岸の決壊・氾濫による浸水被害が発生しています。特に、平成5年7月の台風5号に伴う豪雨により、三次市、吉舎町など5つの市と町において、床上浸水24戸、床下浸水51戸の被害が発生しています。

以上のことから、ブロック全体の浸水被害の解消が必要ですが、近年においても洪水氾濫により浸水被害が発生し、とりわけ人口・資産の集中している集落地の洪水防御が早期の課題と考えられます。

馬洗川ブロックにおける主な洪水とその被害状況を表-1.2に示します。

表-1.2 馬洗川ブロックの主要な洪水

	災害発生年	降雨の原因	24時間雨量	市町村	被害状況
過去の著名な洪水	昭和47年7月	梅雨前線	291mm (11日0:00~)	三次市	全壊38戸、半壊1504戸、床上浸水1771戸、床下浸水1325戸
				庄原市	全壊14戸、半壊32戸、床上浸水184戸、床下浸水563戸
				豊栄町	床下浸水1戸
				世羅町	床下浸水3戸
				世羅西町	半壊2戸、床上浸水5戸、床下浸水22戸
				上下町	全壊5戸、半壊8戸、床上浸水121戸、床下浸水339戸
				総領町	全壊19戸、半壊11戸、床上浸水80戸、床下浸水106戸
				甲奴町	床上浸水106戸、床下浸水426戸
				三良坂町	床上浸水161戸、床下浸水100戸
				三和町	半壊2戸、床上浸水12戸、床下浸水42戸
近年の洪水	平成5年7月	台風5号	114mm (27日1:00~) 172mm(世羅) (27日15:00~)	三次市	床上浸水24戸、床下浸水22戸
				庄原市	床下浸水9戸
				世羅町	床下浸水1戸
				世羅西町	床下浸水2戸
				吉舎町	床下浸水17戸
	平成7年7月	梅雨前線	211mm (2日11:00~)	庄原市	床下浸水4戸
				吉舎町	床下浸水11戸
	平成9年8月	梅雨前線	115mm (5日2:00~)	庄原市	床上浸水2戸、床下浸水14戸
				吉舎町	床下浸水1戸
				三良坂町	床下浸水29戸
	平成10年10月	台風10号	122mm (16日23:00~) 178mm(上下) (16日23:00~)	三次市	床下浸水14戸
				庄原市	床上浸水3戸、床下浸水16戸
				世羅町	床下浸水1戸
				総領町	床下浸水2戸
				甲奴町	床下浸水2戸
				吉舎町	床下浸水4戸
				三良坂町	床上浸水1戸、床下浸水9戸
平成11年6月	梅雨前線	143mm (29日1:00~)	吉舎町	床下浸水5戸	
			三良坂町	床下浸水8戸	
			三和町	床下浸水1戸	

雨量：記載ない場合は気象庁三次観測所

出典：河川浸水被害履歴調査（平成12年実施）

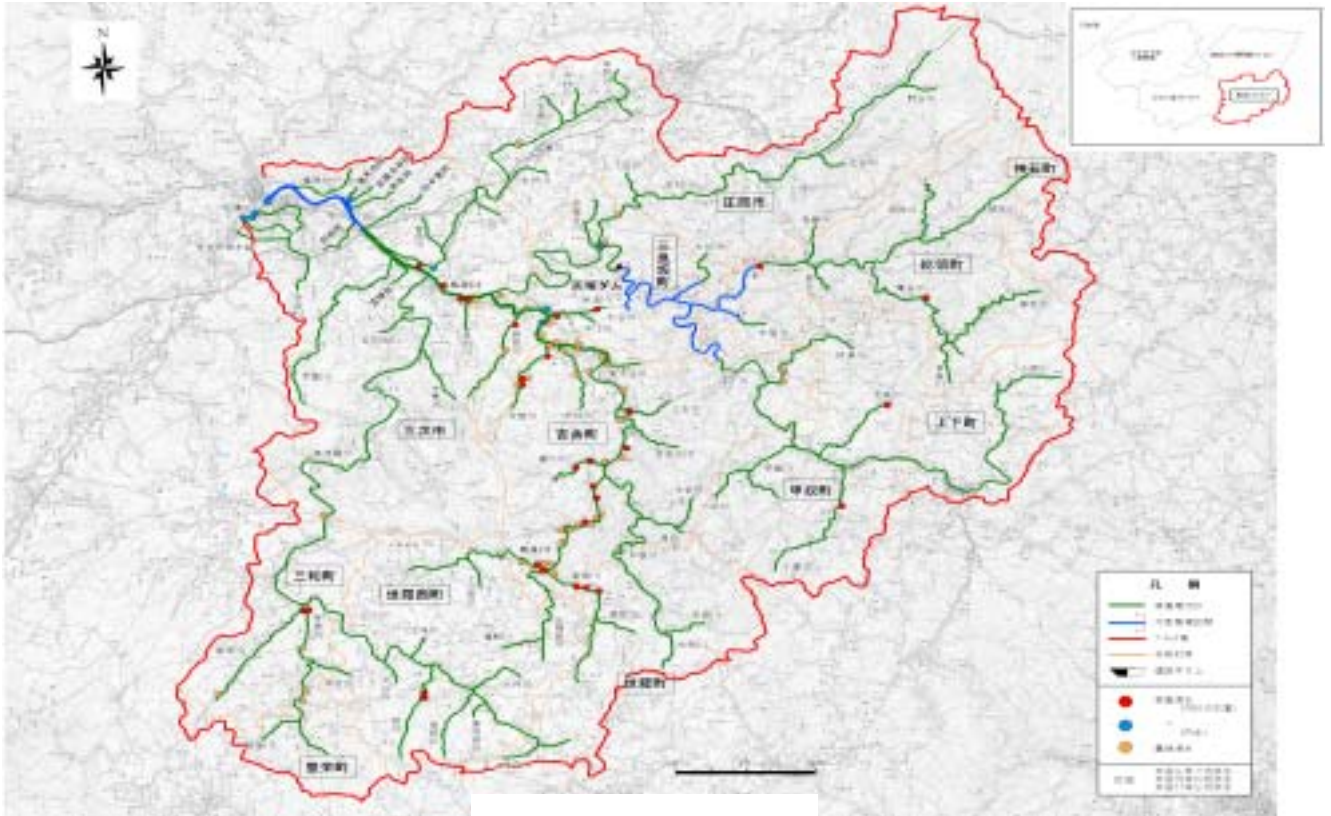


图 4-2 温县全流域区域



### 1.2.2 利水に関する現状と課題

馬洗川<sup>ばせん</sup>ブロックの水は主にかんがい用水として利用されており，844 件の取水施設で約 3,100ha の農耕地をかんがいしています。そのほかに，三次市，吉舎町，三和町，上下町および世羅西町で水道用水を取水しています。また，プールやし尿処理などの雑用水としても利用されています。

ヒアリング調査結果によると，近年では，平成 6 年の異常渇水時に，農業用水が不足ぎみでした（三良坂町，総領町を除く）が，その他の年については具体的な被害は生じていません。このため，今後，比較的良好な現在の流況を確保し，水利用者との調整を行いながら，河川の適正な利用を図り，流水の正常な機能の維持に努めます。

三次市<sup>みよし</sup>を始めとする多くの市町は，水源を表流水や地下水に依存していますが，取水量が小さいことから渇水時においても，水道に対する影響は生じていません。

馬洗川の吉舎地点における昭和 50 年から平成 12 年まで 26 年間の流況を表-1.3 に示します。

表-1.3 吉舎地点流況表（日平均）

流 量 流 況	豊水 (m <sup>3</sup> /s)	平水 (m <sup>3</sup> /s)	低水 (m <sup>3</sup> /s)	渇水 (m <sup>3</sup> /s)	最小 (m <sup>3</sup> /s)	年平均 (m <sup>3</sup> /s)	流域面積 (km <sup>2</sup> )
平均流量	2.45	1.38	0.88	0.35	0.20	2.96	117.7
	2.082	1.172	0.748	0.297	0.170	2.515	
1/10 流量	1.15	0.64	0.32	0.10	0.02	1.28	
	0.977	0.544	0.272	0.085	0.017	1.088	

注) 各項目の下段は 100 km<sup>2</sup> 当たり流量

{備考}

- 豊水：1年のうち，95日これらを下らない流量。
- 平水：1年のうち，185日これらを下らない流量。
- 低水：1年のうち，275日これらを下らない流量。
- 渇水：1年のうち，355日これらを下らない流量。
- 1/10 流量：10年に1回程度発生する流量。

### 1.2.3 河川環境に関する現状と課題

馬洗川<sup>ばせん</sup>ブロックには、多種多様な動植物の生息・生育環境があります。また、馬洗川の吉舎町川魚の里公園（吉舎町）、田総川のアースワーク河川公園（総領町）、北溝川の出会い広場（三次市）などの親水施設があり、人々が川に身近に触れ合う環境が整っています。河川環境を維持・継続し、人と川がふれあう川づくりを進めていく必要があります。

以下に、馬洗川ブロックの河川環境の現状について示します。

#### (1) 水 質

馬洗川、美波羅川、上下川及び田総川の4河川に生活環境に関する環境基準が設定されています。各河川の全域がA類型（BOD75%値が2mg/l以下）に指定されており、4河川の6箇所水質測定を継続的に行っています。これらの観測地点における平成4年度から平成13年度の10ヶ年のBOD75%値は1.5mg/l以下で推移しており、環境基準を達成しています。

流域における水質保全の取り組みとして、ブロック内の各市町において、用排水の分離、河川汚濁防止のため、下水道等生活排水処理施設などの整備が行われています。

BOD（75%値）の推移を図-1.4に示します。

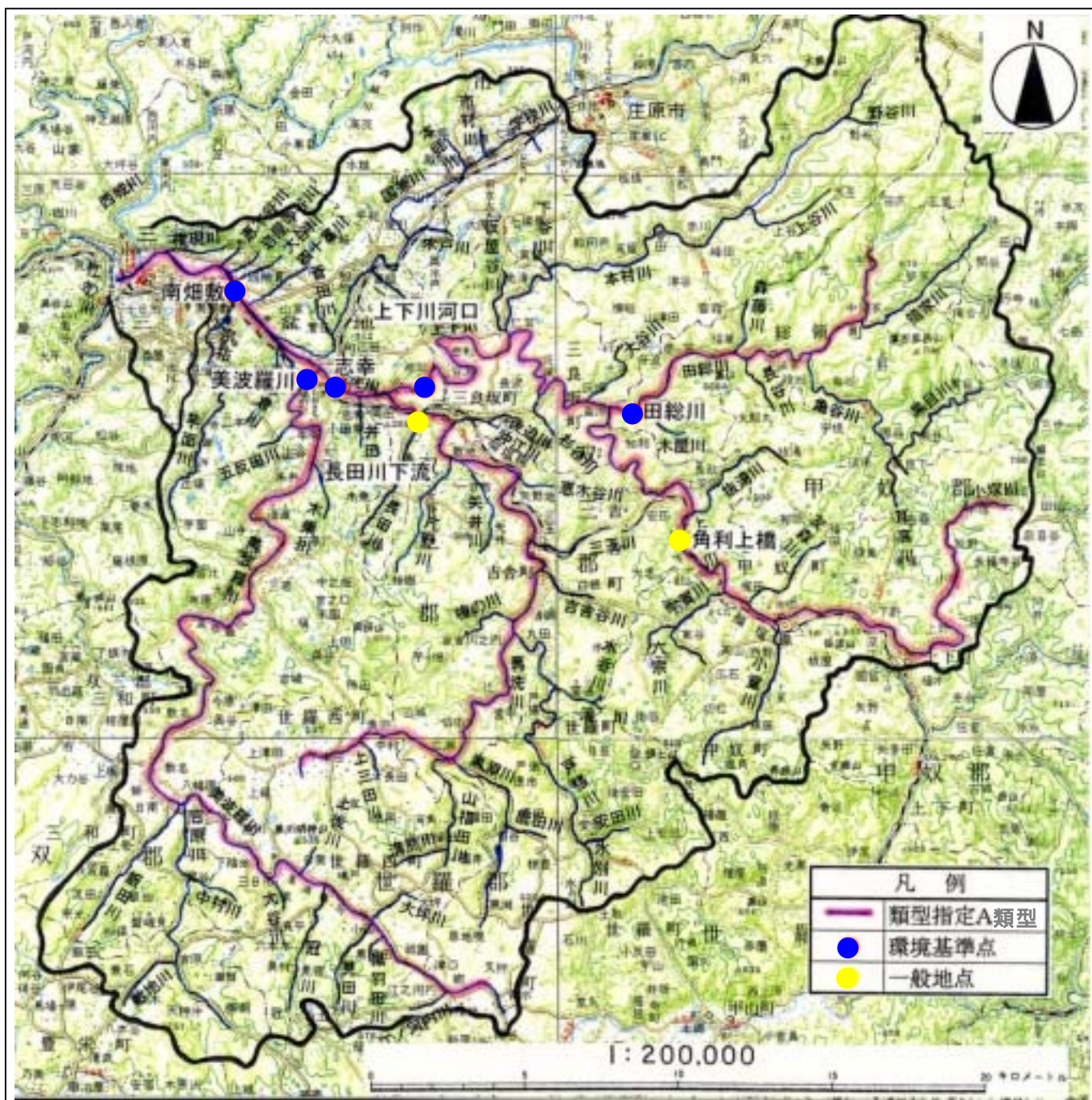


図-1.4(1) 馬洗川ブロック水質観測点位置図

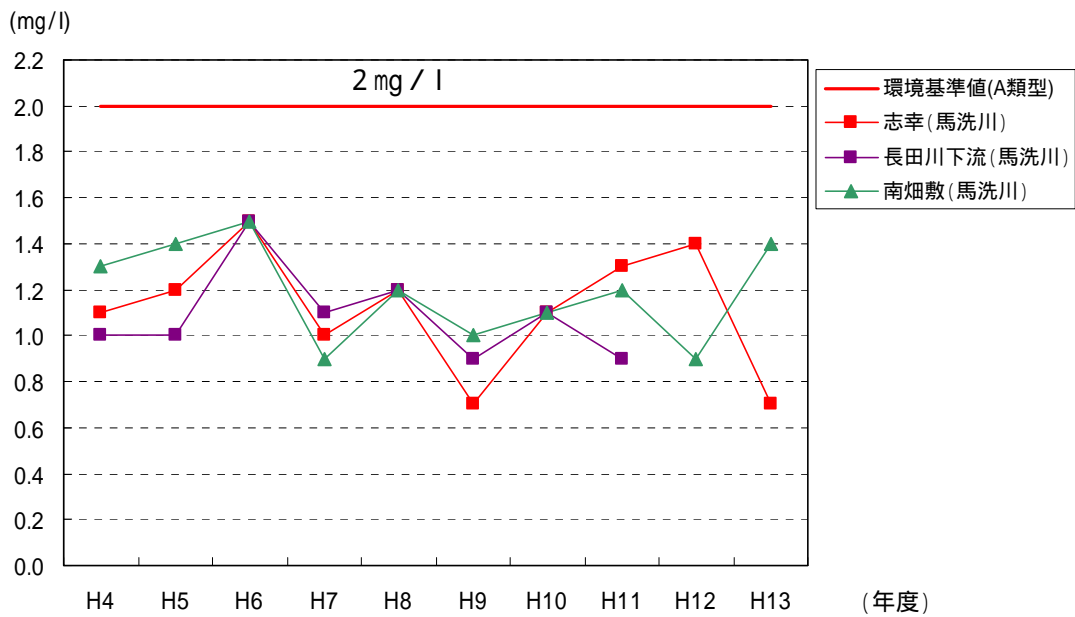


図-1.4(2) 馬洗川本川の水質 (BOD75%値)

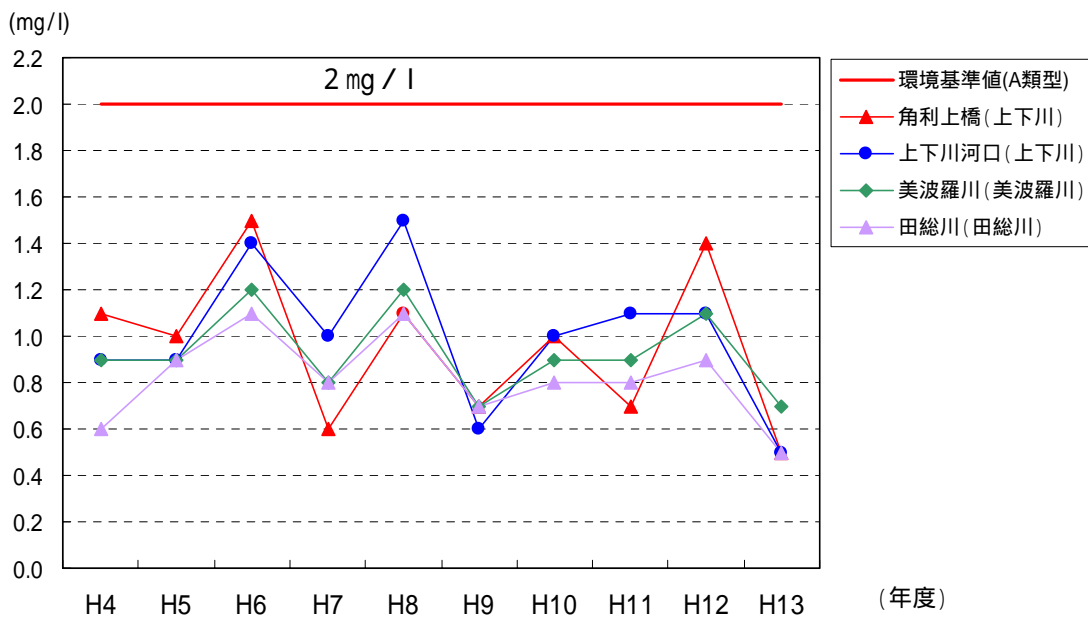


図-1.4(3) 馬洗川支川の水質 (BOD75%値)

出典：公共用水域等の水質測定結果報告書（広島県）  
 (備考)BOD75%値とは、 $n$ 個の日間平均値を水質の良いものから並べた時  $0.75 \times n$  番目にくる数値を指す。

## (2) 動植物

神石高原山地を流れる田総川<sup>たぶさ</sup>や上下川の中流域には、豊かな自然環境が残され、清流にしか棲めないヤマメ、オオサンショウウオやムカシトンボ、ハグロトンボなどが生息しています。また、セツブンソウやヤマトレンギョウの生育も確認されています。

世羅台地を流れる馬洗川上流域や美波羅川の上中流域には、アユ、オヤニラミ、オオサンショウウオ、ハグロトンボやホタルなどが生息しています。流れは比較的緩やかで、沿川には、農耕地や集落がみられます。

下流部の三次盆地では、緩やかな流れとなり、瀬と淵が連続し、良好な水環境を有しており、きれいな水を生活の場とするアユ、ゲンジボタルなどが生息しています。河川沿いには農耕地が広がり、集落も多くみられます。

国兼池にはカワセミ、トモエガモ、カンムリカイツブリなど多くの水鳥が渡来してきます。

吉舎町安田地区に生息するダルマガエルや総領町に生育するセツブンソウは、全国的に数が少なくなっている貴重な動植物です。

## (3) 河川空間及び利用状況

馬洗川を含む 6 河川に漁業権が設定されています。対象魚種は、アユ、コイ、ウナギ、フナ、ハヤで、アユを中心に放流を行っています。

馬洗川ブロックには、馬洗川の吉舎町川魚の里公園（吉舎町）、田総川のアースワーク河川公園（総領町）、北溝川の出会い広場（三次市）などの親水施設があり、人々が川に身近に触れ合う環境が整っています。川沿いは、吉舎ふれあい祭り(馬洗川)に代表される祭りや花火大会、灯籠流し、キャンプ等の行事やレクリエーションに利用されています。

#### (4) 歴史・文化財・伝統芸能

馬洗川ブロックは、<sup>みよし</sup>三次盆地や世羅台地を中心に古くからひらけ、縄文時代以降の遺跡や、三次市高杉町の浄楽寺・七ツ塚古墳群（国指定史跡）、吉舎町三玉の三玉大塚古墳（県指定史跡）など、多くの古墳が残っています。また、<sup>いづも</sup>出雲地方と<sup>あき</sup>安芸・<sup>びんご</sup>備後地方を結ぶ出雲街道や、石見大森銀山から産出された銀を運搬した石見街道が通ることから、中国山地の交通の要衝として発展してきました。

馬洗川はかつて向江田町から三次町までの年貢米の運搬や、十日市町と五日市町との間の岩神渡、南畑敷町の鳥井ヶ瀬渡など、水運が盛んでした。

馬洗川ブロックの文化財としては、国指定重要文化財の旧<sup>しんの</sup>真野家住宅（三次市）、円通寺本堂（庄原市）、奥家住宅（吉舎町）、国指定史跡の浄楽寺・七ツ塚古墳群、矢谷古墳、寺町廃寺跡（以上三次市）などがあります。国指定の特別天然記念物であるオオサンショウウオが流域に広く分布しています。豊栄町および三良坂町でカスミサンショウウオが、総領町でブチサンショウウオが町の天然記念物に指定されています。これらの生物は、食物連鎖の上位に位置し、かつ、清流にしか棲めないため、生態系を維持することや、水質を良好に保つことが必要とされます。また、広島県立歴史民俗資料館（三次市）が収集した「江の川流域の漁撈用具」が平成11年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。

伝統芸能では、三<sup>かくら</sup>上神楽（庄原市）、三<sup>みたに</sup>谿神楽（吉舎町、三良坂町）などの神楽や、稻荷神社の<sup>こうどな</sup>神殿入り（世羅西町）などの神事、牛<sup>うし</sup>供養花田<sup>よはな</sup>植（庄原市）や沖江田<sup>うへ</sup>楽（三良坂町）などの農耕儀礼が、地域の生活や祭りを通して伝承され、無形民俗文化財に指定されているものも多くあります。